

福岡市社保協 ニュース

No.5

平成 30 年 7 月 17 日
福岡市社会保障推進協議会
TEL 092-651-1522
FAX 092-651-9874

浜矩子氏市民公開講演会開催!



7月14日(土)、博多駅バスターミナルビル大ホールで開催した「くらしに光を!憲法パワー!」講演会には、定員を大幅に超す260名以上の市民が参加、災害募金も7,315円集まりました。



～浜氏が斬る!チームアホノミクスの邪悪な野望～

本来、経済政策は貧困世帯などの弱者救済のために、経済のバランスを崩さないように保っていくことが使命です。つまり経済政策は基本的人権の礎になります。しかし、それ以外のことを目的に経済政策「アベノミクス」を進める安倍政権の悪の本質を3つのポイントで指摘しました。

◆チームアホノミクスの下ごころ◆

安部首相が主張する「戦後レジームからの脱却」は、戦後はいやだ、戦前に引き戻したいということです。訪米した際に「アベノミクスと安全保障政策は表裏一体」と発言、日本経済のデフレ脱却と経済成長・GDPの拡大により国防費を増大できると明言しました。つまり、戦前の大日本帝国を再構築するために経済政策を進めています。これは国民を幸せにするような、まっとうなミッションではなく断じて許してはいけません。「森を見て木を見ず」という視点で、安倍政権が打ち出す様々な政策も「すべて戦争をする国造り」のためだと注意しなければなりません。

◆窒息死に追い込まれている日本経済◆

主要投資家として市場を牛耳る日銀は、国債も買い占め状態。安倍首相は「政府と日銀は親会社・子会社の様なものだから連結決算させても問題ない」と考えており、これは世界的に見ても異様な状態です。日本市場は日銀の許容範囲でしか動けず、経済ファシズムのようなものです。チームアホノミクスによる数字合わせのために企業の社会的責任を外してまで利益主義に走らせる風潮や、安上がりで効率よく働かせるための「働き方改革」の推進も、安部首相が考える大日本帝国の再構築に結びつくのです。

◆「君の名は」と問いたすべし◆

「働き方改革」など自分たちの都合のいいように作られた造語は、経済用語でもないのに一人歩きしています。安上がり働かせ方超効率とか、タダ働き青天井…など、本名を知られると神通力を失います。チームアホノミクスの言うままに、それを当たり前に使いたすと敵の思うツボです。敵が持ち出した言葉の裏にある真意を見抜き、本当の名前は何かと問いたすことが大切です。